

核禁条約批准 廃絶の先頭に立て

署名109万人超を提出

日本被団協

日本原水爆被害者団体協

議会(日本被団協)の田中

野田代表委員ら被爆者17人

は7日、外務省を訪れ、岸

田文雄首相に対し「核兵器

禁止条約の署名・批准を求

める署名」109万8801

0人分を提出しました。

あわせて提出した岸田首

相宛ての要請文は、ロシア

のウクライナ侵略で核によ

る威嚇が行われているとし

て、「核兵器をなくすこと

でしか、核戦争の危機を回

避することはできない」と

強調。「戦争による核攻撃

を受けた唯一の国である日

本政府は、核兵器の禁止が

ら廃絶へ、いまこそ先頭に

立って世界をリードすると

き」だと述べています。

日本がすでに禁止条約を批

准していると思っている」

「被爆体験を通して原爆が

どういうものだったのか耳

を傾け、すみやかに批准す

べきだ」と求めました。

田中代表委員は、ロシア

のウクライナ侵略から1年

が経過し、ロシアによる核

使用の威嚇が繰り返され、

戦争が長期化していると指

道上の結末を迎えることの

ないよう、唯一の戦争被爆

国がロシアに働きかけるべ

きた」と語りました。

和田征子事務局次長は、

「広島で開かれる主要7カ

国(G7)首脳会議は、核

兵器保有国と「核の傘」の

下にある国が参加し、議題

にも軍縮が入っている。真

剣に取り組んでほしい」と

外務省(右端)に署名を提出する日本被団協の人たち=7日、外務省

